

RESAS活用による 彦根市 地域経済分析レポート

地域経済分析システム（RESAS）および公表統計をもとに、彦根市の地域経済の現状を整理しました。

対象地域 彦根市 分析基準年 2020～2023年度 作成 稲枝商工会 公表年月 2025年

人口動態 産業構造 観光・来訪 創業動向 まとめと支援方針

01 人口・人口動態

データ出典：RESAS人口マップ／国勢調査（総務省）／住民基本台帳（彦根市）

総人口は減少局面へ転換。2020年の国勢調査では約11.4万人でしたが、2026年1月末時点では約11.0万人まで減少。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2050年には約9.9万人（▲13%）になる見込みです。高齢化の進行と生産年齢人口の縮小が、地域経済の担い手不足に直結しています。

総人口（2026年1月末）

110,370人

▼ 2020年比 約3,300人減

高齢化率（65歳以上）

23.4%

△ 約4人に1人が高齢者

年少人口割合（～14歳）

14.2%

2045年：12.1%へ低下見込み

2050年推計人口

約99,000人

▼ 現状比 ▲13%

年齢3区分別 人口構成の推移（推計含む）



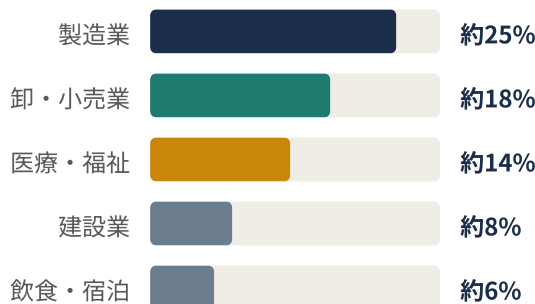
稲枝地区への影響：彦根市都市計画マスタープランによると、稲枝駅周辺を含む多くのエリアで2030年にかけて人口減少が見込まれています。地域の消費市場の縮小と担い手不足への対応が急務です。

02 産業構造・付加価値額

データ出典：RESAS産業マップ／経済センサス・活動調査（経済産業省・総務省）

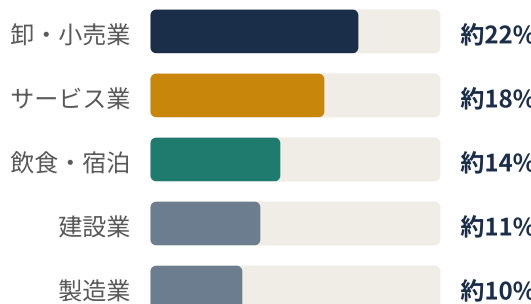
彦根市はかつての城下町・商業都市から、**製造業を核とした産業都市**へ発展してきました。特殊ガラス・電機・機械関連の大手企業が立地し、製造業の就業者数・付加価値額が高い水準を維持しています。一方、**中小・小規模事業者では卸売業・小売業・サービス業が多数**を占め、地域の日常経済を支えています。

産業別 就業者構成（主要産業）



※国勢調査（令和2年）をもとに概算

事業所数の産業別構成（小規模事業者中心）



※経済センサス・活動調査（2021年）をもとに概算

注目点：製造業の就業者割合は高いものの、その多くは大企業・中堅企業に集中しています。事業所数では**小売・サービス・飲食の小規模事業者が大半**を占めており、これらへの経営支援が地域経済の底支えに直結します。医療・福祉分野は高齢化の進行に伴い今後も拡大が見込まれます。

彦根市の主要立地企業（製造業・代表例）

| 業種 | 特徴 | 地域への影響 |
|----------|-------------------|--------------|
| 特殊ガラス製造 | 薄型ディスプレイ・半導体関連ガラス | 高付加価値・雇用創出 |
| 電機・エレベータ | 大手メーカーの生産・研究拠点 | 高賃金・周辺産業への波及 |

| 業種 | 特徴 | 地域への影響 |
|----------|----------------|-----------|
| 自動車部品 | ワイヤーハーネス等の製造 | 雇用吸収力が大きい |
| バルブ・管工機器 | インフラ向け製品の製造・販売 | 地場産業として安定 |

※公開情報をもとに稲枝商工会が整理。RESASの「企業活動マップ」でより詳細な立地状況を確認できます。

03

観光・来訪者動向

データ出典：彦根市「観光に関する経済効果測定調査報告書」（2023年）／RESAS観光マップ



観光入込客数は**2022年度 約269万人**（2021年度の約1.4倍）と回復傾向にあります。経済波及効果は**約190億円**（2022年度）まで拡大しましたが、コロナ禍前の水準（2019年以前）にはまだ届いていません。彦根城を中心とした**日帰り客が主流**で、宿泊化・消費拡大が課題となっています。

観光入込客数（2022年度）

269万人

▲ 前年比 約1.4倍

観光消費総額（2022年度）

141億円

経済波及効果 約190億円

1人あたり消費額（宿泊客）

約2.0万円

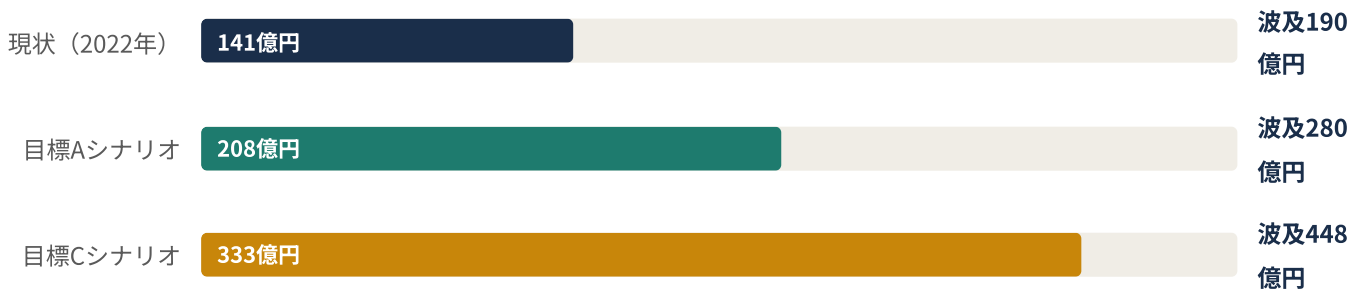
日帰り客は約3,130円

彦根城入場者数（2021年度）

38万人

△ コロナ前比 低水準

観光消費額の主要シナリオ比較（経済効果測定調査より）



※シナリオAは入込376万人・宿泊49.7万人達成時。シナリオCは宿泊比率を18%まで引き上げた場合。（彦根市観光経済効果測定調査報告書2023年より）

来訪者の特徴：自家用車・バイクでの来訪が約6割、鉄道が約2割。主要回遊先は彦根城・夢京橋キャッスルロード・四番町スクエア。リピーター（3回以上）は約2割にとどまります。

稲枝エリアへの示唆：稲枝は彦根市の東部農村エリアとして、農産物・食文化を活かした体験型観光や滞在型農泊などの可能性があります。RESAS「観光マップ」による来訪者流動データの活用が有効です。

04 創業・起業動向

データ出典：RESAS起業・創業マップ／経済センサス・活動調査（総務省）

RESASの「起業・創業マップ」では、彦根市における**開業率・廃業率**の推移を産業別・年次別に把握できます。全国的な傾向として、**小売業・飲食業での廃業が続く一方、IT・介護・医療分野での開業が増加**しています。稲枝商工会では、創業予定者への支援体制の整備と、RESASデータを用いた出店立地分析の支援を実施しています。

業種別 開業・廃業の傾向（全国・近年トレンド参考）

| 業種 | 開業傾向 | 廃業傾向 | 地域での留意点 |
|-----------|--------|-------|-----------------|
| 飲食業・宿泊業 | ◎ 高い | ▲ 高い | 競合激化・人手不足に注意 |
| 小売業（実店舗） | △ やや低い | ▲ 高い | EC・大型店との競合 |
| IT・情報サービス | ◎ 増加傾向 | ○ 低い | テレワーク・移住創業の受け皿に |
| 医療・介護・福祉 | ◎ 増加傾向 | ○ 低い | 高齢化対応・需要が底堅い |
| 建設業 | △ 横ばい | △ 横ばい | 後継者不足が深刻化 |

※全国・滋賀県の傾向をRESASデータ等をもとに稲枝商工会が整理。個別の詳細データはRESAS「起業・創業マップ」よりご確認ください。

稲枝商工会 創業支援実績

随時 対応中

創業計画書作成・補助金申請支援

RESAS活用支援メニュー

無料 相談

出店立地分析・商圈分析

稲枝商工会の創業支援：事業計画策定から補助金（創業補助金・小規模事業者持続化補助金等）の申請まで、ワンストップで支援します。RESASを用いた商圈・競合分析も無料でご相談いただけます。まずはお気軽にご連絡ください。

分析結果のまとめ：彦根市の現状と課題

| 分析項目 | 現状 | 主な課題 |
|---------|----------------------------------|-----------------|
| 人口・人口動態 | 11.0万人（減少局面） 高齢化率 23.4% | 消費市場縮小・担い手不足 |
| 産業構造 | 製造業の就業者比率が高い 小規模事業者は小売・サービス中心 | 後継者不足・デジタル化対応 |
| 観光・来訪 | 入込客269万人（回復傾向） 消費は日帰り中心 | 宿泊・消費拡大・リピーター獲得 |
| 創業動向 | 飲食・IT・介護での開業が中心 | 廃業率抑制・後継者育成 |

稲枝商工会の支援方針：

経営発達支援計画に基づき、RESASをはじめとした各種データを活用して地域経済の実態を継続的に把握・分析します。会員事業者の皆様へは、①経営相談・計画策定支援、②補助金・融資制度の活用支援、③販路開拓・デジタル化支援、④創業・事業承継支援の4本柱で伴走型支援を提供してまいります。お気軽にご相談ください。

RESAS について

地域経済分析システム（RESAS）は、内閣府地方創生推進事務局が提供する、産業構造・人口動態・観光・創業など地域に関する様々なビッグデータを可視化・分析できる無料のシステムです。本レポートはRESASおよび各省庁・彦根市公表統計をもとに稲枝商工会が作成しました。

個別の詳細データや最新情報はRESAS公式サイト（resas.go.jp）よりご確認いただけます。

※本資料に掲載のデータは公表資料等をもとに稲枝商工会が整理・概算したものです。数値は出典資料の公表時期により異なる場合があります。最新の数値はRESAS・各省庁・彦根市公式サイトをご参照ください。

